

学位論文の要旨

専攻 社会文化学専攻

学生番号 75426108

氏名 三井 麻央 印

1 論文題目

19世紀のベルリンにおける博物館建築とその装飾

2 論文の要旨

本論文は、ドイツのベルリンに位置する、現在では博物館島と呼ばれる区域で19世紀に段階的に建設された旧博物館、新博物館、旧ナショナルギャラリーの3館について、各館の建築装飾がいかなる機能を持っていたかを論究するものである。

現代においてほとんど用いられることのない、壁画やレリーフなどといった博物館装飾は、各時代の社会的状況や学問の状況、普及していたメディアの特性をさまざまな手法で反映させながら人々に情報を伝達しようとした、19世紀に特有の媒体である。東西ドイツ再統一後の20世紀末から本格的に進められるようになった博物館島研究では、これらの装飾で表現された内容を次第に明らかにしてきたものの、建築装飾そのものが果たした役割やその重要性といった、より多角的な視点からの議論を十分に尽くしているとは言い難い。このような状況において本論文は、博物館の建築装飾の詳細な検討を通し、建築装飾で示されるイメージには、公に表明された理念や構想では見えてこなかった、重層的なものの見方や歴史観の存在を明らかにすることを目的とする。

構成としては各部の前半（第1, 3, 6章）において、各館の建築家や館長が公に示した理念や構想について、残されたテキストをもとにその内容を整理する。そして後半（第2, 4, 5, 7章）では、前半部で整理した理念や構想を伝達するために用いられた建築装飾の、細部の考察に主眼が置かれる。

まず第1部第1章では、旧博物館（1830年開館）での絵画展示に際して行われた議論の記録に関する分析を通して、旧博物館の主要な構成員の間にみられた、「美術史」の捉え方・伝達方法の差異について整理する。旧博物館の建築家フリードリヒ・シンケルを始めとする中心的人物らは古典古代やルネサンスの芸術を重視した上でそれらを効果的

に伝達し、人々を陶冶する展示空間の形成を試みていた。一方で第2章では、それらの展示空間を包み込む建築と、外壁にかつて設えられていた装飾壁画が対象となる。この壁画は、古典古代の教養や美的な価値観、美術館の目的を示すために館外に向けて設置された。しかし単に古代を主題とするのみならず、さまざまな同時代的な手法を用いてシケルの造営した近代都市ベルリンとの対比が強調されていることが、残された素描や構想図から示される。

次いで第2部では1855年に開館した新博物館について、まず第3章で建築家のアウグスト・シュテューラー『新博物館』で著された博物館構想の要点を明確化する。旧博物館で重視された古典古代の教養の伝達に加え新博物館では、世界のあらゆる文明についてひとつの歴史としての「見通し」を得る、歴史化の機能が重視されている。つまりシュテューラーの構想は博物館施設によって各地の文明を単線的な歴史へと集約することを目的としているが、各展示室で各地の歴史や物語、風景を描いた装飾壁画の細部を見てみると、単線的な歴史への集約というのが不可能であることがわかる。例えば第4章では、古代エジプト、ギリシャ、ローマの展示室の壁画について、各室の壁画に見られる風景画は、当時の都市や古代文明に対するヨーロッパからの19世紀的な視点からそれぞれに大きく影響を受け、別種のイメージソースによって成立していることを示した。さらに第5章では、新博物館それ自体が古典古代に重点を置くのに対し、館の中央に位置する階段室を飾るカウルバッハの大規模な壁画は、近代ドイツ、プロテスタントの文化に重点を置く構成となっており根本的な歴史観の違いが明らかであることがわかる。

新博物館は世界各地の多種多様な文化を単線的な歴史として伝達することを目指したが、ドイツ統一を跨いで計画され、1876年に開館した旧ナショナルギャラリーは、近代ドイツのための美術館であることが強調される。よって第3部第6章ではまず館外の装飾や建築様式を選択に着目し、統一したばかりの「ドイツ」がいかにか自らの国家の美術としてのドイツ美術史を統合し、表象したのかを整理する。プロイセン主導による統一ドイツという画一的な表現によって統合されたかに見える旧ナショナルギャラリーの「ドイツ美術史」であるが、第7章で考察するオットー・ガイヤーのフリーズは、プロイセンの美術がバイエルンからの大きな影響のもとにあったことを示している。それにより旧ナショナルギャラリーが率先して示した「ドイツ」観にも揺らぎが見えること、つまりプロイセン主導のドイツ統合の困難さが明らかにされる。その一方で、バイエルンの美術、建築もまたプロイセンからの双方向的な影響のもとで形成された可能性を最後に提示し、論文を締めくくる。

(注) 2,000字程度にまとめること。